

# いしずえ

発行日：令和4年7月1日(金) 第202号

編集・発行：一般社団法人沼津建設業協会 広報みらい委員会  
沼津市本田町9-33 電話(055)943-6726  
発行 四半期1日 <http://numazukenkyo.jp/>



令和4・5年度役員紹介

会長



加藤 修一  
(株)加藤工務店  
代表取締役

副会長



長田 崇  
(株)オサコー建設  
代表取締役

理事



高村 和秀  
(株)集組  
代表取締役



町田 直繁  
大藤建設(株)  
代表取締役



落合 孝佳  
落合建設(株)  
代表取締役



長岡 重弘  
富士峰建設(株)  
代表取締役



内野 聡  
大岡建設工業(株)  
代表取締役



土佐谷 文輔  
(株)土佐谷組  
代表取締役専務



稲村 明子  
(株)稲村建設  
代表取締役



眞田 和政  
眞田建設(株)  
代表取締役



林 則夫  
(株)林組  
代表取締役



勝又 恵一郎  
岳南建設(株)  
代表取締役社長



鈴木 昌彦  
東静建設(株)  
代表取締役



臼井 康晴  
臼幸産業(株)  
代表取締役社長

監事



渡邊 雄二  
渡辺建設(株)  
代表取締役会長



吉田 伸一郎  
(株)佐藤建設  
代表取締役会長



山本 豊一  
山本公認会計士事務所  
代 表

就任にあたって

会長 加藤 修一

れる団体と言えるのではないでしようか。その役割は大きく分けて2つあると思っています。

1つは公共建設に携わるものとしての役割です。自然災害が発生した時の緊急対応は我々の責務と考えます。特定の会社だけに頼るのではなく、協会と地区建設業協会が一体となった体制づくりが必要だと感じます。温暖化が進むなかで、豪雨災害は毎年のように発生します。協会全体で災害に対するの備えを行うことが大切だと考えます。

2つ目は建設業がもつ課題への取り組みです。担い手不足の問題、技術レベルの更新、将来へ進むべき方向など、それぞれの会社が少なからず、将来に対して不安を抱いていると思います。これらの課題解決は単独で行うには難しくなり、共同で取り組むことにより、解決の糸口を見出すことができると考えます。不安を払しょくし、各社が今以上に地域の創造の担い手として活躍されることを期待したいところです。

会長職は決して適任とは言えませんが、皆さんにとってメリツトのある団体となるよう、一生懸命努めさせて頂きますので、2年間、どうぞよろしくお願ひします。

「共助」の担い手として期待さ

ロシアによるウクライナ侵攻という、いままで我々が常識だと思ってきた「平和や自由」という概念が大きく覆されました。資源や食料の輸入が滞ることによる急激な物価の上昇や資材不足により、多くの方がコロナ禍以上に国の先行きや安全保障の問題に不安を感じていると思います。一方、ロシアの隣国の世界一幸福な国と言われるフィンランドは、NATO加盟に傾き、さぞや戦々恐々の状態なのかなと思いきや、そうではないようです。フィンランド人はいざという時に国民の約4分の3の人が自国のために戦うことを望んでいるという調査結果が出ています。企業においても防衛の意識は高く、常に協調して侵略だけでなく自然災害やパンデミックに対しても万全の備えを行っているようです。幸福の核心は自らが国を守り、戦おうとする国民の意志なのかもしれません。残念ながら到底まねのできないところですが、我々がせめてできる事としたら、「互助」や「共助」の精神に基づいた企業運営を行うことだと考えます。

# 令和4・5年度 委員会委員紹介

※各員名の欄は省略

## 【経営厚生委員会】

- 委員長 勝又恵二郎(岳南建設)
- 副委員長 内野 聡(大岡建設工業)
- 委員 芹澤真一(トーブ)
- 佐藤敏春(藤幸建設)
- 白岩 敦(白石建設)
- 伊藤洋之(丸勇建設)
- 岩田治彦(眞田建設)
- 杉山敏和(大出石)
- 白井達也(白辛産業)

## 【安全委員会】

- 委員長 長岡重弘(富士峰建設)
- 副委員長 金澤清文(大栄工業)
- 菅澤茂範(岳南建設)
- 後藤 要(飯田建設工業)
- 長田健一(長田土木)
- 山口浩和(浩和建設)
- 杉澤教人(大志建設)
- 成川敏信(小林道路)
- 杉山一弘(山田組)
- 鈴木浩二(渡辺建設)
- 永木 晋(渡邊工業)
- 永野重巳(寿組)
- 山崎 守(山幸建設)
- 水谷 靖(白辛産業)
- 室伏良太(室伏組)

## 【技術委員会】

- 委員長 鈴木昌彦(東静建設)
- 【土木舗装・農地森林部会】
- 部長 鈴木昌彦(東静建設)
- 副部長 土佐谷文輔(土佐分組)
- 委員 工藤芳経(植松建設)
- 水口逸人(山旺建設工業)
- 金田三平(金田工務店)

## 【建設部会】

- 部長 町田直繁(大藤建設)
- 副部長 渡邊正高(渡辺建設)
- 委員 小塩祐樹(川村組)
- 石田和幸(大岡建設工業)
- 鈴木喜清(大増建設)
- 遠藤智広(稲村建設)
- 勝間田健人(勝間田工業)
- 松井 裕(松井建設)

## 【広報みらい委員会】

- 委員長 稲村明子(稲村建設)
- 副委員長 林 則夫(林組)
- 委員 佐藤宗徳(佐藤建設)
- 渡邊裕介(渡邊工業)
- 勝又芳信(植松土木)
- 塩谷浩章(リサーチ)
- 小長谷介(東光建設)
- 立道貢一(睦産業)
- 鈴木博昭(東静建設)

## 【災害対策委員会】

- 委員長 白井康晴(白辛産業)
- 副委員長 落合孝佳(落合建設)
- 委員 眞田和政(眞田建設)
- 土屋雅一(東土建)
- 樽林誠司(樽林建設)
- 曾我部剛(日建建設)
- 久慈 讓(新田建設)
- 一杉昭宏(一杉興業)
- 山本誠一(山田組)
- 関 真太郎(関建業)
- 廣瀬雅彦(渡邊工業)
- 芹沢智樹(芹澤建設)
- 高杉嘉伸(三晃建設)
- 田代和美(田代建設)

河西大樹(河西建設)  
 廣瀬雅彦(渡邊工業)  
 数田徳和(数田建設)  
 和太 宝(和太組)

## 協会の動き

### 定時・通常総会

5月11日、沼津建設業協会(渡邊雄二会長と沼津地区建設業協同組合(同理事長)、建災防静岡県支部沼津分会(同分会長)は、令和4年度定時・通常総会を沼津市内のホテルで開催した。

議事では、3団体の令和3年度事業報告、決算報告などが承認されたほか、任期満了による役員改選の結果、6年間にわたり会長を務めた渡邊氏に代わり、加藤修一理事が新たな会長に就任した。



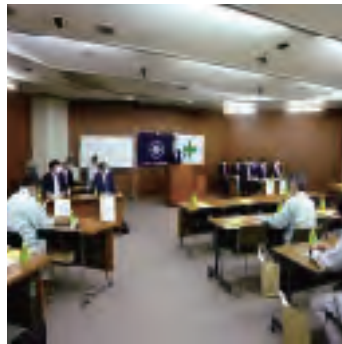
### 安全大会・安全祈願祭

#### 安全祈願祭

6月13日、協会と沼津分会は沼津市民文化センターで第51回安全大会及び安全祈願祭を開催し60名が参加した。来賓として沼津労働基準監督署榊原署長、県沼津土木事務所山本所長、東部農林事務所望月所長ほかが出席した。

冒頭の主催者あいさつで長岡重弘安全委員長は、墜落等の労災事故の防止や熱中症対策、架空線切断等の公衆災害防止に最善の注意を払ってほしいと呼びかけた。

安全講習会では労基署の黒岩安全衛生課長が講師を務め、全国安全週間の重点取組事項や労働災害の発生状況等について解説した。



### 高校生の現場見学会

6月14日、技術委員会(鈴木昌彦委員長)は県立沼津工業高校都市環境類型3年生を対象にした現場見学会を開催し、生徒22名と教諭3名が参加した。

沼川大規模特定河川対策工事(函体工)と黄瀬川長沢地区護岸工事の2箇所を訪れ、現場代理人や監理技術者から工事内容や特徴を学んだ。

実際の現場に触れ、生徒たちには大いに刺激になったようであり、土木が人の役に立つやりのある仕事だと実感したり、施工管理の大変さを感じを馳せたりしていた。自分たちの将来について考え、技術者

### その他の事業

- ・技士会沼津地区代議員会(4月8日)
- ・年度監査(4月15日)
- ・広報みらい委員会(4月18日)
- ・安全委員会(4月26日)
- ・県建設業協会理事会(4月28日)
- ・足場組立て作業主任者講習(5月17・18日)
- ・県建設業協会ほか総会(5月23日)
- ・経営厚生委員会(5月25日)
- ・沼津河川国道事務所河川巡視(5月25日)
- ・フルハーネス型安全帯使用作業特別教育(5月27日)
- ・技術委員会正副部長会議(6月1日)
- ・就職に関する意見交換(6月7日)
- ・足場組立て等特別教育(6月9日)
- ・JCMセミナー(6月10日・17日)
- ・技術委員会・技士会技術諸問題打合せ(6月20日)
- ・型枠支保工作業主任者講習(6月21・22日)
- ・県建設業協会理事会(6月23日)
- ・沼津土木事務所幹部との懇談会(6月30日)



# 健康応援便 (30)

静岡県東部健康福祉センター  
健康増進課

## 夏のマスク 熱中症に注意！

毎年のお知らせですが、こ

れからの季節は「熱中症」に注意が必要です。今年もコロナ禍の夏となります。マスクの着用により熱がこもりやすくなり、また、マスク内の湿度が上がることで喉の渇きに気づきにくいと言われています。いつも以上にこまめな水分補給や予防対策に取り組みましょう。

こんな日は**注意！**

- 気温が高い
- 湿度が高い
- 風が弱い
- 急に暑くなった
- **こんな人は注意！**
- 持病のある方
- 高齢者、子ども
- 肥満の人
- 体調が悪い人
- 暑さに慣れていない人

こんな状況は**注意！**

- 炎天下での作業
- 屋外での作業
- 機密性の高いビルの中
- ホールや体育館の中
- ビルの最上階

こんな症状があったら熱中症を疑いましょう

軽度…めまい、立ちくらみ、

筋肉痛、汗がとまらない

ない

中度…頭痛、吐き気、倦怠

感、虚脱感

重度…意識がない、けいれん、

高い体温である、呼びかけに  
対し返事がおかしい、まっすぐに歩けない

熱中症になった時の処置

- 1 意識がある、反応が正常な時

- ① 涼しい場所へ避難させる
- ② 衣服をゆるめ、身体を冷やす
- ③ 水分・塩分を補給する



ただし、水を自力で飲めない、または症状が改善しない場合は直ちに医療機関を受診しましょう。(または、救急隊を要請しましょう。)

- 2 意識がない、反応がおかしい時

- ① 救急隊を要請する
- ② 涼しい場所へ避難させる
- ③ 衣服をゆるめ、身体を冷やす

倒れた時の状況が分かる人が

医療機関に同行しましょう。

昨年度から始まった熱中症警戒アラートが今年度も4月27日から10月26日までの予定で実施されます。受信したい発表区域を登録すると、熱中症警戒アラートが発表されたときに、LINEアプリやメール配信サービスで情報を受け取ることができます。(無料で利用できますが、情報取得にかかる通信料は利用者の負担となります。)また、昨年度に登録いただいた方も再度の申込が必要となります。熱中症予防のために、ぜひ、左記QRコードからご利用ください。



メール配信サービス

静岡県東部健康福祉センター  
健康増進課  
電話055192012112



富士山の麓に位置する我が家は、建設業の傍ら約1.2haの土地で米と少しの野菜を作っている。米は初まきから始まり、育苗、田植え、稲刈り、乾燥、籾摺り等、米が玄米の状態まで出荷されるまでの工程を全て自分の家で行っている。

米の栽培期間は3月から9月までと長く、田植えから稲刈りまでの間水の管理や追肥、草刈り等様々な作業を行わなければならない。兼業農家である為春から秋までの半年間、休日はほぼ農作業に追われる。ゴールデンウィーク中も、世間の皆が休日を楽しんでいる間田植えであり、その時期になるとよそ様が少しうらやましく感じることもある。

そんな大変な苦労も、秋になり米を収穫し新米を食べた時に報われる。自分達が汗水流して作った米は、どんな料理屋で食べる米より美味しいからだ。さらに有難いことに我が家の米にファンがつき、わざわざ浜松から買いに来て

くれる人や、仲間内でのBBQでは我が家のおむすびを「美味しい!」と言って皆が褒めてくれる。また、農協が測定してくれる米の食味値(※1)は85点以上で、常に「厳選特A米」(※2)という評価も頂いている。

ここ数年、水田の圃場整備を行っている。この事業は小規模水田を集約することで、大型機械で効率よく営農できるようにするものであり、100年後も形が残る事業とされている。

圃場整備をした農家さんから「作りやすい田んぼ」だと言う評価を頂けると施工業者として正直嬉しいし、社員のモチベーションにもつながると思う。

一方で、農家離れも深刻に考えなければならぬと感じる。まず、なぜ農家離れが進むのかと言うと、米の価格が上がらないのだ。米は30kg当たり大体1万円位で売れる。これを米の収量で換算すると(水田一枚<sup>10a</sup>換算)、一枚の水田で約420kg採れる。すると水田一枚当たり420kg/30kg×1万円=14万円であり、肥料代や種代等を引くと手元に数万円程度しか残らない。これにトラクター・田植え機・

コンバインの稲作における必須機械3点セットを購入すると、耕作面積が少ない農家は経営が成り立たないのだ。そのため、最近は農業法人や団体に米の栽培を全て委託する農家が増えており、国も農業を大規模農家に集約していく流れにある。これはこれで良いことだと感じるが、今後大規模に営農できる農家がこの地域に現れるのか不安である。この地域は傾斜が多い中山間地域となるので、水田には畦があり土手も大きい。そのため、広範囲における草刈り作業が出てくる。どうやら平地ではこの作業をあまり行わないようだが、この地域では多い人で年間5回も草刈り作業を行う。できることなら極力手を抜きたい草刈り作業にも、除虫や風通しを良くし病気にかかりにくくするなどの意味があり、どうしてもやらなければならない作業である。さらに水田1枚1枚の水管理を朝夕毎日行う。これらは管理する水田の枚数が多ければ多いほど時間がかかり、非効率であり、自分もこれ以上の面積を積極的に増やしたいとは思えない。最近では、農業の省力化を目的とした「スマー

ト農業」という機械システムを活用した農業が流行っているようだ。その代表として近年注目されているのが、無人トラクターや無人田植え機だが、その他にも自動草刈り機や自動水管理システム等が出てきている。しかし、これらの機械システムが本格的にこの地域では導入されていない。導入できない理由としては、やはり収益に見合わないことが一番の要因だと思うのだが、こういった技術を積極的に導入していかねばならない時代が近い将来到来してくるかもしれない。

私たちが次の世代に繋ぐために整備した水田が、積極的に営農され、100年後も美味しい米を作っていけるよう、何をすべきか、何を変えていかなければならないのか、60歳を越えた私たちだけでなく、今後次の時代を担う30代、40代の若者達と一緒に考えていく必要があるのだと思う。

※1…食味値…お米の美味しさを点数化したもの。

※2…厳選特A米…食味値80点以上約3年前のことです。

## 会員紹介 株式会社和太組

### 「会社概要」

商号…株式会社和太組

所在地…駿東郡小山町用沢

1961-5

設立…昭和46年12月17日

資本金…2100万円

代表者…代表取締役和太 宝

当社は、父である和太八吉が出身地である山口県岩国市で、昭和25年にこの仕事を始めたことがきっかけと聞いています。その後、東京渋谷にある東栄建設株式会社の下請会社として従事し力を蓄え、

千葉県海岸工事などを経た後、昭和30年頃、国道246号線工事のため小山町に拠点を設けたところから、会社設立へとながっています。

設立した当初には、いわばよそ者であるにもかかわらず、地元の名士の皆様や周りの会社の皆様の信頼を得ながら、この地に根付いていったと聞いています。

これまで当社は、地元で愛される総合建設業を目指し人々のくらしを支えるお手伝いをして参りました。当社が営々と築き上げてきた、技術力と熟練のノウハウや経験を生かし、社会インフラとしての土木工作物、生活を豊かにする構築物の提供を通じて社会に貢献することを目指しています。さらに近年では、環境保全への取組としてエコアクションにも積極的に取り組み、継続的な環境負荷削減にこれからも全社員一丸となり努めて参ります。



## ペット紹介



約3年前のことです。会社の倉庫に1匹の猫が住み着きました。

おそらく誰かに捨てられてさまよっていたようですが雨風をしのげる屋根がある倉庫に逃げ込んできたのだと思います。

お腹を空かせて痩せ細っていたのでかわいそうになり事務員の方と毎日キャットフードを与えてかわいがっていたのですが、すっかり情が移ってしまいとうとう自宅に連れて帰ってしまいました。

それから3年、もうかわいくて愛おしくて今では毎晩一緒にベッドを共にするようになりました。

もともと誰かに飼われていたと思われ、連れて帰った日からトイレもしっかり使えて

手がかからず本当にお利口さんです。

会社に居た頃は屋根裏に住んでいて呼ぶ時は「ニャー」と声をかけていましたので「ニャータン」と名付けました。

ニャータンは毎朝出勤時に玄関までお見送りにきてくれて帰ってくればまた玄関までお迎えに来てくれます。

また毎朝決まった時間にお腹が空くらしく耳元で「ニャーニャーご飯ちよーだい」って起こされるのがちよつとつらいのですが、まあそこは娘

だと思えば苦ではないですね。とにかく抱っこが好きでテレビを見てても食事をしてても膝の上に乗ってきて甘えてきます。

仕事やプライベートでつらいことがあってもニャータン

の顔を見ると癒されるので私にとってかけがえのない存在になっていきます。

そもそも以前はどちらかというと犬の方が好きだったのですが今ではすっかり猫大好き人間になりインスタグラムも猫友ばかりになっちゃいました。

これからも末永くニャータンと幸せな家庭を築いていきたいと思つてます(笑)



## 家族紹介

株林組 稲 飛佑耶

我が家は僕と妻を含め、今年二歳になる息子と生後二カ月の娘と四人で暮らしています。

息子は、外で遊ぶのが大好きです。



晴れた日は、近所の公園でボール遊びや追いかっこなどで、一日中体を動かして遊んでいます。

最近では滑り台などの遊具でも一人で遊べるようになりました。

屋内で遊ぶ時は、積み木やパズルといった遊びをする時もあるけどキッチンから鍋やフライパンを持ってきてお母さんの真似をするなど、何にでも興味を持つとても楽しい子です。

娘は、生まれてまだ二カ月なのでコミュニケーションはなかなかとることが難しいのですが、昼間はニコニコしながら全身を使って動いたり、

最近ではミルクの時間以外はとも静かに寝てくれるとてもいい子です。

また、目も見え始めてきているのか、顔を近づければ満面の笑みを見せてくれたり、息子が頭を撫でてあげた時や娘の名前を呼んだ時などに時折見せる笑顔は、我が家の宝物です。

妻は、とても活発で子供達との遊びや体を動かすのがとても好きな人です。

雨が降っていても室内で色々な遊びや、レクリエーションを考えて家族みんなを楽しませてくれます。

また料理が好きな妻は、料理本を見ながら僕や子どもたちに毎日おいしいご飯を作ってくれているのでとても感謝しています。

我が家の子どもたちはまだ小さいので、これからたくさん人の事を学び成長していきます。

僕たち夫婦もまだまだ未熟なので周りの方に色々教わりながら、子どもたちと共に成長していきたいと思えます。

## ●現場代理人の声



(株)佐藤建設  
今野 敦士

25年。建設現場に携わり、これだけの年月が経ちました。地元の工業高校を卒業し、(株)佐藤建設に入社して現在に至ります。ありきたりな表現ですが、あつという間の25年間、違ったなと思います。この間、大変な思いをしたことは何度もありました。しかし、それを遥に上回る魅力が建設工事にはあることに、割と早い時期に気付けたことにより建設



業に携わり続けていられると思います。別の言い方をすれば、25年を「短い」と思えることはとても幸せな事だと思っています。何の取り柄もなく、努力もしてこなかった私が、なぜ、そう思えるのかとの理由を考えてみると、一緒に建設業に携わってきた人たちに恵まれていたからだと思えます。どんな困難に見舞われても周りの人たちに助けられ、何とか切り抜けてきました。佐藤建設の社員をはじめ、協力会社、施主、設計事務所の方々にどれほど良くしてもらってきたか数え切れません。結論として、運が良かったのだと思います。

そんな私が直近で担当させてもらった工事について紹介します。この工事は、病院の増築及び改築工事、RC3階建ての一般病棟及びS造2階建ての緩和ケア病棟の増築・既存病棟の改修を約1年半掛けて行うものでした。施工会社の選定に当たり、まず、施主・設計事務所による現場担当者の面接があり、私

なんか面接を通るわけがないと思っていました。運良く面接を通り受注したときは驚いたことを覚えています。工事が始まり、一番気掛かりだった事は、建設工事につきものの騒音・振動・粉塵です。また、病院の業務を行いながらの工事を行わなければならなかったため、通常の工事よりも作業時間が制約されてしまっているのではないかと心配しましたが、施主が工事に大変協力してくれたお陰で、ほぼ制約なく工事を進めることができました。また、設計事務所の方々からは、同工事の計画に対する熱い思いや自由に発想することを学びました。特に、外壁及び内壁では最近ではあまり見かけない左官仕上げを用いることにこだわりを感じました。その思いに左官職人が感激し、期待に応えるべく奮闘した事が印象に残っています。

まだまだ多くの良い思い出がありますが、竣工後、施主と設計事務所の方々から「佐藤建設に施工をお願いして良かった」との言葉をいただいた時が一番うれしく、この一言で工事期間中のすべての苦労が報われた思いがしました。

やっぱり建設業は魅力的です。定年を迎える時、「あつという間だったな、楽しかったな」と思えるようなら最高です。



私の大切にしているものというものでしたので、2003年に結婚した主人との事を少し書きたいと思えます。

1つ年上の主人と出会ったのはお互い高校生の時でした。当時からやさしい主人は、勉強に進学にと悩む私の相談相手でした。

ちょうど1年ほど前、今の職場への転職のお話をいただいた時も私はずっと悩んでいた。8年近く建設業を離れていた私に建設業の仕事が勤まるのか、パートをしていたサービスマンも人手不足なので周りに迷惑を掛けてしまうのではないかと、どうしたらいいのかなかなか答えを出せずにいました。そんな時も相談に乗ってくれて励まして

くれたのが主人でした。今までだけの努力をして建設関係の資格をとったのかと、また自分の年齢も考えてみてごらんと、もしかしたら建設業に戻れる最後のチャンスかもしれないよと、せっかく資格をもっているのだから社会に貢献しておいでと言われ、もし戻ってダメだったらその時はまた一緒に考えようと、そう励まされて建設業でもう一度仕事をする事になりました。

そして早いもので転職をして約10ヶ月が経ちました。職場環境にも恵まれ日々楽しそうに仕事へ行く私を見て少しはほっとしてくれているのではないかなと思っています。

来年で結婚して20年、子供には恵まれなかった私達ですが結婚当時から私には1つの願望がありました。それはお互いがおじいちゃん・おばあちゃんのような年齢になっても、仲良く手をつないで2人で街中を歩きたいなど。

これから先もたくさん人の相談に乗ってもらいながら、主人にとって自慢の妻になれるように日々努力を惜しまず願望が叶うようにしたいと思います。



先月何年かぶりに潮干狩りに行きました。以前はバケツ半分位は採れましたが、今回は一匹も採ることができませんでした。アサリ不漁が原因で今年、浜名湖では潮干狩りの中止が決定。全面中止は四年連続七回目になるそうです。二〇〇九年は約六百トン、二〇一一年は百トンと、年々漁獲量が減少しています。水温や塩分濃度の上昇など、様々な環境変化がアサリの減少につながっているそうです。

今地球では乱獲や森林破壊、川や海の水質汚染により年間四万種以上の生物が絶滅しているとか。

二〇一六年には地球温暖化対策を定めたパリ協定が制定されました。約二百の国で二酸化炭素をはじめ、温室効果ガス排出量を実質的にゼロにすることを長期目標として定めています。産業革命以降、地球全体の平均気温は年々上昇しており、今後平均気温の上昇は更に加速するとみられています。パリ協定では地球温暖化による平均気温の上昇

を、産業革命以前に比べて二程度未満に抑えるという目標が定められているわけですが、地球温暖化により二度平均気温が上がり海面が二十六センチから八十二センチ上昇するとされています。海面の上昇により海抜の低い地域では、浸水危機による集団移民を計画せざるを得なくなり、高潮高波など災害対策の必要も増え、このようなことから試算すると、十五センチの海面上昇につき、毎年五兆円の負担がかかるとも考えられています。地球温暖化のみならず、生物の大量絶滅を招いている原因が人間の活動にあるのも事実です。森林破壊や焼き畑業などで陸地が改変、湿地が消失、プラスチックごみによる海洋汚染などで海域に悪影響が及んでいます。生物の生息域が失われ現在、動植物の四分の一が絶滅の危機にあります。例えば受粉をミツバチやチョウ、コウモリのような花粉媒介生物に頼っている農作物は、こうした生物が絶滅することにより、最大で

年間約六十四兆円相当の穀物生産が失われる可能性があり、将来的な食糧不足につながる懸念されています。このままでは人間の暮らしを支える自然の恩恵が損なわれてしまいます。生物多様性の崩壊は、われわれ人間の存続に関わる問題なのです。私たちも地球を次世代に遺すため、アイドリングストップ、電気の節約など身近でできることから取り組んでいきましょう。地球の未来、一日一日を素晴らしい明日を迎える為に。

### 各種表彰

#### (全国建設業協会会長表彰)

- ・2条4号  
地方協会の会社において、多年にわたり役員又は企業経営の要職にあり、かつ建設業の健全な発展のために尽力し、その功績が顕著な者。
- 小林昭人氏 (小林道路㈱代表取締役会長)
- ・5条  
よく職務に精励し、勤務成績が良好である者。

#### (静岡県建設業協会会長賞表彰)

- ・4条1号 (経営)  
経営の合理化並びに技術の向上等に努め、健全な建設業の発展のためにその成果が顕著な会員。
- (株)寿組
- ・5条 (従業員・精勤)  
よく職務に精励し、勤務成績が良好な者。
- 金田和子氏 (株)金田工務店
- 杉山 貢氏 (株)林組
- 浜野邦彦氏 (株)加藤工務店
- 井村 学氏 (渡邊工業㈱)
- 小泉 博氏 (渡辺建設㈱)
- 佐野 仁氏 (大藤建設㈱)
- (静岡県建設産業団体連合会会長表彰)  
○長岡重弘氏 (富士峰建設㈱代表取締役)
- (静岡県建設業協会建設も創り大賞)  
・土木部門/特別賞  
○白幸産業㈱
- 令和2年度地域連携道路事業町道3628号線(ラウンド

### 主要行事予定

- ・強化安全パトロール (7月6日)
- ・会員旅行 (7月7~9日)
- ・地山掘削・土止支保作業主任者講習 (7月13~15日)
- ・献血 (7月21日)
- ・県協理事会 (7月28日)
- ・理事会 (8月12日)
- ・沼津土木事務所技術懇談会 (8月24日)
- ・技士会1日研修 (8月26日)
- ・足場点検実務者研修 (8月30日)
- ・強化安全パトロール (9月7日)
- ・職長安全衛生責任者教育 (9月14~15日)
- ・県協理事会 (9月22日)
- ・木造建築物組立等作業主任者技能講習 (9月29~30日)
- アバウト) 道路改良舗装工事
- ・建築部門/優良賞・特別賞
- 渡辺建設㈱
- 令和元年度桃沢野外活動センター他大規模改修工事
- 白幸産業㈱
- 令和元年度足柄駅交流センター建設工事